

中筋純 講演会

チェルノブイリと福島 ～原発事故を後世にどう伝えていくか～



上：チェルノブイリ・サマシ
ヨール 下：双葉駅前
撮影 中筋純

2023年4月15日(土) 13:00～15:00

◆会場：Zoom によるオンライン開催

◆定員：200名 ◆参加費：無料

◆申込締切：4月15日(土) 9:00

◆申込先 URL：

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZMtceqppjIiG9dKW428M2mtZVGJCAYPxqD8>

※申込時記載のメールアドレスに Zoom ミーティングの URL と詳細が届きます。

◆問合せ先：Eメール chernob1986@jcom.zaq.ne.jp



大爆発を起こした福島第一原発。

約半世紀かかると言われる廃炉作業は計画通りに進むのだろうか。

膨大な高レベル放射性廃棄物は誰が引き受けるのだろうか。

約束された「明るい未来は」どこにいったのだろうか。

科学の名のもとに、放射能という寝た子を起こしてしまった人類は、

これから途方もない時間を「目覚めた子」と向き合わなければならない。

これは天災でなく、人災なのだから。

中筋純著『コンセントの向こう側』（小学館）より

★講演 中筋 純 (なかすじ じゅん)



1966年生まれ。写真家。ファッション、舞台、映画、ドキュメンタリーの雑誌&広告企画で撮影を担当する傍ら日本の産業遺構にスポットを当て作品制作。2007年10月産業遺構としてのチェルノブイリを取材開始するも、放射能汚染にて22年後もなお沈黙を続ける都市空間に衝撃を受け、その後6度に渡り訪問、数々の作品を残す。2011年の福島原発事故後には被災町の許可を得て無人と化した街々の

発する静かなメッセージを季節の変化に寄り添って記録している。2016年より「流転 福島&チェルノブイリ」展を全国40か所で巡回。福島関連の表現を続ける芸術家たちの展覧会「もやい展」を主催。現在、南相馬市小高に原発事故伝承をテーマにしたアートミュージアム『おれたちの伝承館』設立に向け奔走中。著書に『流転チェルノブイリ』（二見書房）、『かさぶた The Silent Views 福島』（東邦出版）、『コンセントの向こう側』（小学館）、他多数。

★支援活動の報告 「未来の福島子ども基金」代表 黒部信一

「チェルノブイリ子ども基金」事務局長 佐々木真理

【共催】チェルノブイリ子ども基金 未来の福島子ども基金

【後援】生活協同組合パルシステム東京

☆このイベント開催のための賛同金を募集しています。

一口1,000円 郵便振替口座00160-4-98316 口座名 チェルノブイリ子ども基金